



令和7年9月10日

課名 商工労働局イノベーション推進チーム

担当者 担当課長 門永

内線 3354

令和7年度「ひろしまユニコーン10」採択企業の決定について

1 要旨

「ひろしまユニコーン10」プロジェクトにおける、スタートアップ企業等の事業成長を支援するプログラム及び東南アジア進出を支援するプログラムについて、次のとおり、専門家等による審査を経て採択企業を決定した。

2 STARTUP ACCELERATION 2025

(1) 概要

個社のニーズや成長段階に沿って事業成長を支援する「ひろしまユニコーン10」STARTUP ACCELERATION 2025において、応募のあった20社のうち7社を採択決定した。

(2) 対象企業

- 広島県に拠点がある企業、または採択された場合に広島に拠点設置予定の企業
- ユニコーン企業に匹敵するような企業価値が高く急成長する企業を志している企業
- スタートアップのほか、企業内で新事業によりカーブアウトを目指す者、第二創業者など

(3) 採択企業（並びは50音順）

【アーリー期以降コース】

	企業名（本社所在地）	本県での活動	事業内容
1	WOTA(株)（東京都）	竹原市内に拠点	小規模分散型水循環システム・水処理自律制御システムの開発
2	(株)ジザイエ（東京都）	代表が県内移住	工場や建設現場におけるリアルタイム遠隔就労支援システムの開発
3	(株)Blossom Energy（東京都）	竹原市内に拠点	黒鉛を用いた熱エネルギー大規模貯蔵システムの開発

【シード期コース】

	企業名（本社所在地）	本県での活動	事業内容
1	ESREE Energy(株)（東京都）	竹原市内に拠点	ヒートポンプを用いた蓄熱蓄電技術の開発
2	NousLagus(株)（愛知県）	拠点準備中	業務用ソフトウェアの最適化支援システムの開発
3	(株)pecoli（東京都）	代表が県内移住	地域特化型マッチングアプリの開発
4	(株)マテリアルゲート（東広島市）	広島大学発ベンチャー	単分子誘電体の製造・販売、単分子誘電体デバイスの開発および技術供与

(4) 今後のスケジュール（予定）

時期	内容
令和7年8月～	メンタリング、面談、講演等サポートを実施
令和7年12月	首都圏での企業・VC向けピッチイベント参加
令和7年2月	成果発表会

(5) 予算

35,538 千円

3 ASIA CO-CREATION PROGRAM

(1) 概要

スタートアップ企業等の東南アジア進出を後押しするため、現地の日系団体と連携してネットワークの構築や拠点設置等を支援することとし、応募のあった9社のうち4社を採択決定した。

(2) 対象企業

- 広島県に拠点がある企業、または採択された場合に広島に拠点設置予定の企業
- ユニコーン企業に匹敵するような企業価値が高く急成長する企業を志している企業
- スタートアップのほか、企業内で新事業によりカーブアウトを目指す者、第二創業者など

(3) 採択企業（並びは50音順）

	企業名（本社所在地）	本県での活動	事業内容
1	(株)ウーオ（広島市）	県内で創業	スマホを用いて水産流通をデジタル化し、需給を最適化する「UUU0」の開発・運営
2	ENTECH(株)（三原市）	県内で創業	製造プロセスの改善、アジアの医療格差の縮小のためにデジタル歯科技工のプラットフォームを提供
3	島崎航平（創業前）	広島大学発ベンチャー	次世代エッジ振動監視システムによる製造業DX
4	中村ユセフ健（創業前）	拠点準備中	大型船向けの燃費を向上させる特殊形状のプロペラを開発

(4) 今後のスケジュール（予定）

時期	内容
令和7年8月～	インプットセッション、メンタリング、事業ブラッシュアップ
令和7年11月	海外進出先でのナレッジ共有、フィールドワークなど
令和7年11月～	個別相談、パートナー紹介、進捗フォロー
令和8年3月	成果発表会

(5) 予算

28,000 千円

4 令和7年度の支援プログラムについて

「ひろしまユニコーン10」プロジェクトでは、上記2つの支援プログラムの他、スタートアップ企業等の資本政策を支援するプログラム及び北米進出を支援するプログラムを実施する予定であり、採択企業が決定次第、報告する。